

統一地方選挙の必勝に向けた特別決議

山口県においては、人口減少、超少子高齢化が急速に進行し、労働人口の減少により人手不足が進む中で、長時間労働の是正をはじめとする働き方改革の推進、AI、IoTをはじめとする技術革新への対応や、その進展に伴う産業構造の変化などの課題に直面している。

また山口県内の各自治体に目を向けると、厳しい財政運営を背景に医療・介護、子育て支援などの地域間格差も浮き彫りになっている。

地域社会は、地域住民・勤労者の生活の基盤である。連合がめざす「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、地方分権改革の推進とナショナルミニマムの確保、地域産業の活性化と雇用・労働条件の維持・改善など、地方議会における政策・制度の実現がますます求められている。

このような中、来春に施行される第19回統一地方選挙は、「働く者・生活者」の立場にたった地域の政治勢力拡大をはかる重要な闘いである。国政における一強多弱の現状、立憲民主党、国民民主党の支持率低迷など、極めて厳しい情勢にあるが、地域における政治基盤を強化し、連合山口の政策・制度を実現するためには、我々と思いを一つにする地方議会議員の拡大は不可欠である。

連合山口は、今こそ、その役割と責任を再認識し、組合員とその家族はもちろんのこと、集団的労使関係の外にいる労働者、貧困層などのすべての「働く者・生活者」が安心して働き、安心して暮らせる社会の実現に向け、全力で第19回統一地方選挙に挑まなければならない。

我々は、本大会以降、速やかに闘う体制の確立をはかり、6万人の組合員の総力を結集して、第19回統一地方選挙における推薦候補者全員の当選を勝ち取ることをここに誓う。

以上決議する。

2018年10月27日
連合山口第25回定期大会